

令和3年度せんだんの里グループホーム 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール (西乃家)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念をもとに、ユニット独自の理念を作成しており、職員間での確認、共有を行い、ご利用者支援に取り入れ、実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年から引き続き、コロナ禍で地域交流が難しい中であるが、町内会だよりやせんだんの里だより等で互いの情報共有を行い、交流が途絶えないようにしている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催方法や委員の意向を都度確認、検討しながら2ヶ月ごとに地域密着運営推進会議を開催している。新型コロナウイルス感染症の流行の状況を見ながら対面での開催を実施出来た回もあり、対面での開催が難しい状況の場合はグループホームでの取り組みを書面で郵送し、確認をいただいている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部評価結果の改善計画書を提出し、必要時は担当者の見解を確認し手協力体制を築くよう取り組みをしている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束しないケア委員会を中心に内部研修の開催や、不適切ケア報告カードの作成、提出に取り組むことで、職員一人ひとりが身体拘束しないケアへの意識や理解を深められる取り組みがされている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者、職員全員による検討、内部研修等、身体拘束や虐待防止への意識を深める取り組みを実施していることから。	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされるこ	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束しないケア委員会が開催する研修への参加や、不適切ケア報告カードへの取り組みを行うことで、自分たちのケアに対する振り返りを行	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止に関する取り組みが計画的に行われている。施設への訪問時、ご利用者が穏やかな日々を過ごしていることが実感できるため。また、定期的に職員	

		とがないよう注意を払い、防止に努めている		い、虐待防止への意識を高めている。			一人ひとりの行動を振り返り、見直しを実施していることから。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修などへの参加を通し、成年後見制度に関し、学ぶ機会がある。必要性が生じている場合は、活用が出来るよう体制をとっている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約については、十分に説明をし、ご利用者やご家族が不安の無いよう努めており、改定の際は文書配布や説明会を行っている。今年度はオンラインでの説明会を実施。また、玄関には重要事項説明書を掲示している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以前は家族会を開催し、意見交換の機会を設けていた。現在はケアプラン郵送時や電話連絡の際にご家族の意向確認や意見や希望を伺っている。また、玄関には意見投書箱の設置をし来訪可能時には投函できる環境を整えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族への定期連絡や、随時の近況報告時に意向の把握に努め、説明を通して理解や納得に努めたり、意見、要望を汲み取り反映する等仕組みがあるため。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニット会議や面談を通して、職員の意見を聞く機会を設けている他、日常的に職員とのコミュニケーションを図り、現場に反映できるよう努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を活用して、個々の目標を把握し、面談を通して達成状況のほか、不安などの確認もしている。全員が向上心を持ち、不安なく働けるような環境づくりに取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が目標や向上心を持って働けるよう、目標の把握や面談を行うなど仕組みを整え、より良い職場となるように取り組んでいるため。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人ひとりの経験や能力に応じた内部研修への参加を促し、学びの機会を設けている。ほかに、資格取得の為のサポートも行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部・外部研修参加の機会や、勉強会を行うなど職員を育てる仕組みや、キャリアパスの活用、資格取得の支援など

							意欲・能力向上に繋がる取り組みを行うことが出来ている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	宮城県グループホーム協議会に加入しており、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら外部研修（現在はオンライン）への参加などの検討を行うことで、サービスの質の向上に取り組んでいる。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人との日々の関わりの中で関係作りを行い、そのなかで伺った思い、希望を支援に活かしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	オンライン面会や、親族や知り合いが来られた時は、窓越し面会や電話を使い、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見ながら、直接の面会を行って頂いていた期間もあり、ご一緒の時間を過ごすことで交流や関係性が継続できるような場の提供に配慮した対応を心掛けている。			
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前の生活歴や過去の環境を把握し、生活の中での会話に耳を傾けて一人ひとりの思いや希望を汲み取るようにしている。把握した内容を職員間で共有し、毎月の会議の中で実現に向けて検討をしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月モニタリングを行い、利用者、ご家族の意向確認をしている。ご利用者の状況に合わせ、必要な支援が提供できるよう各専門職員からの意見をもらい、都度カンファレンスが出るようにしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	アセスメント表の利用や毎月のモニタリングを通してご利用者一人ひとりの理解とケアの検討を行いながら、情報共有に努め思いに沿ったケア実践を行っていることが確認できるため。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者ごとに日々の生活の記録を行い、気づきや変化を確認して、職員間で情報共有を行い、必要な支援を考え、プランへ活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子やその中での気づきや変化を記録することで、情報共有を行い、その上で介護計画を適宜必要に応じて見直しを行うなど活かしていることが確認できるため。
	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム内だけでは無く、併設している施設とも連携を図り、サービス提供を行っている。コロナ禍の状況により、敷地内やユニット内での活動が主となり、理美容、医療に関する支援なども訪問が中心となりながら、様々な方法で支援を継続している。併設している施設の機能を活用したり、地域資源を活用することで、より良い生活が送れるよう、本人のニーズを汲み取った柔軟な支援を心掛けている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	例年、地域のボランティア団体が主催するイベントに出席したり、ボランティアの受け入れ、せんだんの里内の行事に参加するなど、地域支援を活用しつつ、ご利用者によりよい生活を送っていただけるよう支援をしている。			
	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族の希望するかかりつけ医に受診できるよう、配慮をしている。職員が受診に同行した場合には、その日の内にご家族への報告を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関とはサマリーや診療情報提供書、相談員とのやり取りなども含めて情報共有・把握を行っている。ご利用者退院時は入院時の様子など聞き取りを行って、退院後も安心して生活を送れるように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響で直接の訪問等実態調査などの頻度は例年通り行うことが難しい点もあるが、方法を変えるなど工夫を図り、かかりつけ医や医療機関との連携はしっかりと行われていることが確認できる。
	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. ほぼできている	ご本人、ご家族から重度化した場合や終末期の意向確認を行っている。医療や専門職との協力体制を含め、			A. 十分にできている B. ほぼできている

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	方針を共有、確認をしながらご本人やご家族の意向に添ったケアを提供できるよう、随時意向を伺いながら対応をしている。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	期ケアが行われていることが確認できるため。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変や事故発生時には連絡順のフローチャートや各連絡先が一目でわかるものを準備し、定期的に確認することでしっかり把握している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニットの防災担当職員を中心とし、各ユニット持ち回りで毎月避難訓練を実施している。また、災害時の食料や物品等についても担当が中心となり確認し、整備している。他、可能な時は地域の方々との協力体制も整えている。	夜勤者が1名ということもあり、夜間帯の災害時の対応に直面した場合にマニュアルやフローチャートの通りに動けるかが重要になってくるため、今後も訓練の継続が必要。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な消防・防災に関する訓練の実施や災害への備え、フローチャートの確認、物品や設備の点検等が実施されている状況のため。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各ご利用者を尊重し個々に合ったケアを行っている。またプライバシーを侵害しないよう言葉の内容やトーン、伝える場面を含め、生活の中で場面ごとに対応に配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人格を尊重した声掛けや対応が行われているため。言葉の内容や声のトーンや、伝える場面にも配慮している。やり取りを行う中で確認したご利用者の表情からも様子が確認できるため。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃からご利用者それぞれの生活ペースを確認し、それを基に一人ひとりのその日の様子を把握して、お気持ちや体調に合わせた生活を送れるよう取り組んでいる。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の食べ物や、好みの物を購入して楽しんでいただける工夫をしている。また、管理栄養士や歯科衛生士など専門職の助言も反映し、ご利用者の嚥下、咀嚼の状態に合わせて安全に食事が出来るよう取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	専門職との連携することで、一人ひとりに合った食事を提供し、食事の時間を楽しむことが出来る配慮が見える取り組みや支援を行っている。ご利用者の食事場面の様子からも把握できる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事摂取量、水分量、必要に応じて摂取カロリーの把握に努め、対応が必要な場面を察知できるよう配慮している。管理栄養士のラウンドより、ご利用者一人ひとりに食事面のアド			

				バイスを受け、水分、食事量、栄養面などの状態を改善できるよう取り組んでいる。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の能力に合わせ、声掛けや介助にて口腔ケアを行っている。他、毎月施設の歯科衛生士が定期的に口腔内の確認とケアを行っている。必要時は歯科往診の対応を行なっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	歯科衛生士も介入し、ご利用者一人ひとりの口腔に関する状態を把握し、ご利用者に合った声掛けや補助など介護職員による日常的な口腔ケアの実施が出来ていると思われるため。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄チェック表を活かし、個々の排泄状況(回数・量・間隔・形状)の把握、確認を行って、医療との相談を行いながらそれぞれに合った便秘予防、対応に取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	画一的な対応ではなく、ご利用者一人ひとりの排泄パターンの把握を行うことで、それぞれの状態や習慣に合った支援方法を行っているため。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入浴に関する個々の希望を把握して、それぞれのタイミングや体調面に合わせた入浴支援を行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一日の中で十分な休息が出来るよう、日中の活動や昼寝の時間を設けているほか、疲労感などが見られた際は都度休んでいただけるよう声掛けや居室への案内を行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者一人ひとりの内服薬が把握できるよう、ファイルの作成をしている。薬の副作用や、用法の確認、薬剤師からのアドバイスを確認して、状態変化がないか確認をしている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ファイルの使用などによりご利用者の服薬に関する情報を管理し、服薬による影響も観察を行える状況となっている。また、それらがケアや医療に関するやり取りの際に活用されていると思われるため。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者の能力を活かした役割として日常の家事活動のほか、余暇時には体操や、散歩、塗り絵、漢字ドリルなどを行い楽しみや、気分転換などの支援を行っている。			

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、外出支援が難しい状況ではあるが、一人ひとりの状態に合わせ、敷地内での散歩を行い、外の空気や景色を感じていただけるよう支援をしている。	外出支援が難しいながらも施設内や敷地など戸外へ出掛けたり、屋内での活動を増やすなど苦慮しながら工夫を図っている。地域の行事や交流の機会も控えている状況のため、対応を継続しつつ、交流も行える状況となるまで情報交換していく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の了承も得て、ご利用者の希望に合わせて、お金の所持をいただいている。買い物の希望がある際は購入のお手伝いを行っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族から希望があった際、電話で会話を楽しんでいただいたり、定期的な交流を持てるようご家族への提案や機会を設けるなど対応している。手紙のやり取りを行っていただけるよう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の身体機能に配慮した動線を工夫し、安全に過ごせる環境づくりを行っている。 気の合うご利用者同士で過ごせるよう、心地よい居場所作りを工夫している。居室の環境なども安全面にも考慮しながら、馴染みの品などを配置し、居心地よい空間となるようご家族からの協力もいただきながら対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの希望や能力に応じて、自立した生活を長く続けられるよう環境を整える配慮や、活動支援などの時間の環境づくり、共有の空間についても掲示物などの工夫も含め季節感を感じられ、張り合いのある暮らしができるように支援を行ったり、気持ちよく生活できる環境を整えているため。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の気持ちに寄り添った支援が出来るよう、日々の関わりの中で思いを伺い、支援や関係作りに努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の生活歴や過去の環境を把握する他、日常生活の中の会話に耳を傾け、一人ひとりの思いや希望を汲み取り支援に活かしている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間対応の訪問看護師と連携している。週1回の訪問時や日常の中での体調変化など、その都度、訪問看護師に報告・相談し、主治医に報告している。適切な医療を受けられるよう対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護師、医師の定期的な対応や緊急時の体勢などで医療面への不安も少なく、怪我や事故にならないような環境や、馴染みの物を配置する環境づくりが行われていることが分かるため。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の生活習慣が継続できるよう、一人ひとりの思いや希望を汲み取るようにしている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族と相談しながら、馴染みの家具や好みに合わせた物を使用している。家族の写真やラジオ等、本人が居心地良く、安心して過ごせる工夫をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との連携も図りなじみの物を持ち込むことで、入居前の環境に近くなるよう配慮されている。ご本人の愛着があるものに囲まれて生活することで、安心して日々を過ごすことが出来ている、また、可能な限りご利用者の意を介している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	現状、遠出などの外出は難しい部分もあるが、都度ご本人の希望や思いを伺い、楽しみを持つ機会を設けられるよう支援出来るよう対応を行っている。	人の往来のある場所などや以前行えていた場所への外出は難しい中ではあるが、家ごとに活動を増やすなど対応を行っているため、継続することが必要。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活、記録からご本人の状態を把握して、カンファレンスなどで情報共有を行い、お一人おひとりに合わせた必要な支援や、楽しみの提供が出来るようにしている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人おひとりに焦点を合わせ、好む会話や、好む活動を取り上げて提供するようにしており、生き生きと楽しむことの出来る場面を増やせる支援を行うよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響により外出等制限や十分に行えない中ではあるものの、一人ひとりの能力や状態に合った活動支援や役割を持った生活を送れるよう配慮されているため。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	現在感染症拡大予防策のため直接近隣、地域の方との交流を行うことは難しいものの、せんだんの里の職員や他棟のご利用者同士で挨拶をかわすことや、理美容、医療、他専	様々な交流を行うことが難しい中で最新の注意を払いながら継続する工夫を図っている。現在の対応を継続しつつ、状況をみながら、交流を拓けられる方法を検討する必要がある。		

49				門職など様々な人々との交流を行うことは出来ている。			
	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	生活を共にし、職員との関り、交流を深める中で、GH で暮らすことに安心している気持ちを伝えて下さる方もおり、お一人おひとりの思い、希望に沿い、心地よく過ごしていただける支援や工夫を継続している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響により外部の方の出入りや外出などには制限がある状況だが、職員との関係性や、周囲の人との関わりを多く設けるなど穏やかな生活が出来るよう対応していることが、ご利用者の表情や生活の様子から確認できる。